

# アナリストレポート

## 感染症拡大の影響がみられ、足もとでは厳しい状況となっている

### 県内景気 天気図

現在の景気

生産活動

個人消費

民間設備投資

住宅投資

公共投資

雇用情勢

3か月後の景気

凡例

☀️ 晴れ ☁️ 晴れ一部曇り

☁️ 曇り ☁️ 曇り一部雨

☔️ 雨

前月比

📈 上昇・好転 📉 横ばい

📉 下降・悪化

### 県内景気の動向

**現状** 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、化学やプラスチック製品などで低下したものの、生産用機械や輸送機械などで上昇したため、前月比では2か月ぶりに上昇した。

需要面では、百貨店・スーパー販売額を全店ベースで見ると、ウエイトの高い飲食料品が3か月連続で増加しているのははじめ、身の回り品や家電機器などが増加したため、全体では5か月ぶりに前年を上回った。また、大型専門店などの他の小売業態では、ドラッグストアが4か月連続かつ大幅の増加、家電大型専門店とホームセンターはともに5か月ぶりに増加し、コンビニエンスストアも2か月連続で増加したため、小売業6業態計の売上高は昨年9月の消費税増税前の駆け込みによる増加以来、5か月ぶりに前年を上回った。これは、新型コロナウイルス感染症対策のためのマスクや消毒薬などの衛生用品をはじめ、トイレトーパーや保存用食品などの買い急ぎが一部でみられたためと考えられる。さらに、新設住宅着工戸数は貸家が3か月ぶりに減少したものの、持家は2か月ぶり、分譲住宅は3か月連続でともに大幅に増加したため、全体でも3か月連続の大幅増となっている。公共工事の請負金額は7か月連続で大幅に増加している。

一方、乗用車の新車登録台数と軽乗用車の販売台数は消費税増税後の反動減に加え、今回の感染症拡大による買い控えにより、ともに6か月連続の減少となっている。また、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は、サービス業用と商業用がともに3か月ぶりの大幅増加となったもの

### 京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、新型肺炎の拡大の影響により、弱い動きとなっている。

需要面をみると、個人消費は、新型肺炎の拡大を受けた外出自粛により弱い動きとなっている。観光は、新型肺炎の拡大を受けた外出自粛やインパウンドの減少により大幅に悪化している。設備投資は、非製造業に一服感がみられるものの、製造業による新技術関連投資や更新投資がみられることから、増加基調にある。住宅投資は、分譲は増加傾向にあるものの、貸家や持家に弱めの動きがみられていることから、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、公共施設の建築工事や高速道路関連工事のほか、防災関連の工事を中心に増加している。

### しがぎん 経済文化センター (産業・市場調査部)

の、鉱工業用が4か月ぶりに大幅に減少したため、3業用計では3か月連続の大幅減少となっている。このような中、雇用情勢をみると、感染症拡大の影響が出始めてきたと考えられ、有効求人倍率は3か月連続かつ大幅に低下している。今後の動向を注視する必要がある。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は感染症拡大による生産の縮小・停止前の在庫積み増しのため、2か月ぶりに上昇したのと考えられる。需要面では、個人消費において一部で消費税増税後の反動減に加え、感染症の拡大による買い控えがみられるものの、小売業の売上高は感染症対策のための衛生用品をはじめ、食品や日用品の一部で買い急ぎの動きがみられ、前年を上回っている。また、住宅投資や公共投資では増加基調が続いている。一方、民間設備投資は弱含みの動きがみられる。

したがって県内景気の現状は、一部で堅調な動きはあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がみられ、足もとでは厳しい状況となっている。

**今後の動向** 県内製造業の生産活動は、感染症の拡大による自工場をはじめ取引の国内外の工場の生産縮小・停止という事態から徐々に生産再開に向けて動き出すとみられるが、しばらくは厳しい状況が続くと思われる。また、需要面では緊急事態宣言の期間延長により飲食業をはじめ観光関連産業、小売業などさまざまな業種で業況の悪化が長引くと考えられる。したがって今後の県内景気については、感染症拡大の影響により厳しい状況が続くと見込まれる。

こうしたもと、生産は、新型肺炎の影響により弱めの動きに拡がりが見られている。また、雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いているが、足もとでは一部に新型肺炎の拡大の影響がみられている。雇用者所得は緩やかに増加している。

今後については、当面、新型肺炎の拡大の影響から弱い動きが続くとみられる。こうした中、新型肺炎の拡大の帰趨、政府等が打ち出している各種経済対策の効果、それらが管内経済に与える影響等に注視していく必要がある。

【日本銀行京都支店：「管内金融経済概況」(2020年4月16日発表)より】

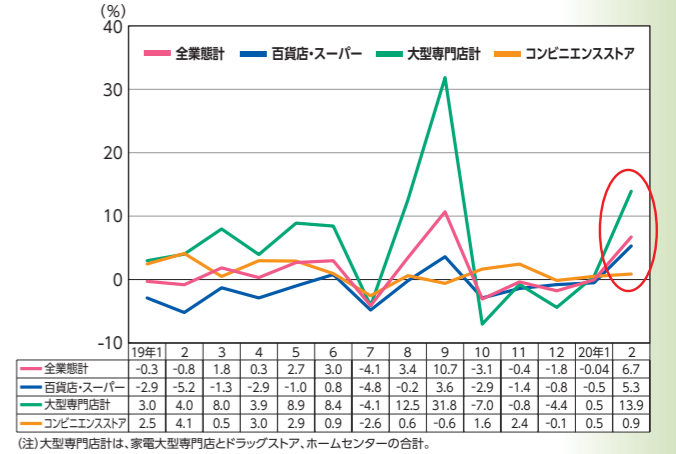
### 「小売業6業態計売上高」は

#### 5か月ぶりに増加

- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象99店舗)」(2月)は、20.862百万円、前年同月比+5.3%となり5か月ぶりに増加した。品目別では、ウエイトの高い飲食料品が3か月連続で増加(+5.2%)しているのははじめ、「身の回り品」は5か月ぶりに増加(+5.9%)、「家電機器」は2か月ぶりに大幅増加(同+15.7%)、「その他の商品」も2か月連続かつ大幅に増加(同+11.7%)したが、「衣料品」は5か月連続(同-3.8%)、「家庭用品」も4か月連続とともに減少(同-0.6%)。「既存店ベース(=店舗調整後)」でも5か月ぶりに増加した(同+0.8%)。品目別では、「飲食料品」、「身の回り品」、「その他の商品」が増加(順に、同+1.0%、同+2.4%、同+3.6%)。
- ・大型専門店では、「ドラッグストア」(全店ベース=店舗調整前、2月、202店舗)は6,812百万円、同+21.2%で、4か月連続かつ大幅の増加となり、「家電大型専門店」(同42店舗)は3,089百万円、同+5.5%、「ホームセンター」(同63店舗)も2,772百万円、同+7.7%となり、ともに5か月ぶりに増加した。また、「コンビニエンスストア」(同564店舗)は8,826百万円、同+0.9%となり2か月連続で増加。
- ・これらの結果、「小売業6業態計売上高」(2月)は、42,361百万円、同+6.7%で5か月ぶりに増加し、昨年9月の消費税増税前の駆け込みによる売上増(同+10.7%)以来の増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症対策のためのマスクや消毒薬などの衛生用品をはじめ、トイレトーパーや保存用食品などの買い急ぎが

一部でみられたためと考えられる。「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(3月)は、「小型乗用車(5ナンバー)」が6か月ぶりに増加したものの(2,106台、同+9.7%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」が6か月連続で大幅に減少しているため(2,178台、同-16.7%)、2車種合計でも6か月連続の減少となっている(4,284台、同-5.5%)。「軽乗用車」も6か月連続かつ大幅の減少(2,580台、同-11.6%)。全体に消費税増税後の反動減に加え、今回の感染症拡大による買い控えによるものと考えられる。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業態別販売額(前年同月比)

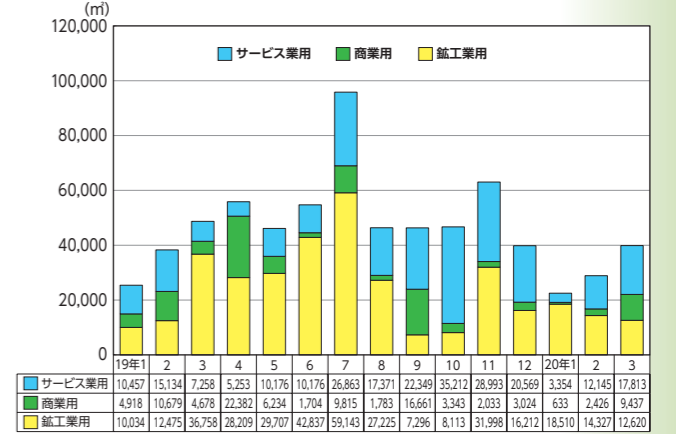


### 「民間非居住用建築物着工床面積」は

#### 3か月連続で大幅減少

- ・「民間非居住用建築物着工床面積」(3月)は、「サービス業用」(17,813㎡、前年同月比+145.4%)と「商業用」(9,437㎡、同+101.7%)がともに3か月ぶりの大幅増加となったものの、「鉱工業用」が4か月ぶりに大幅に減少したため(12,620㎡、同-65.7%)、3業用計では3か月連続の大幅減少となっている(39,870㎡、同-18.1%)。
- ・トラック新車登録台数(3月)は、「小型四輪トラック(4ナンバー車)」が6か月連続かつ大幅に減少しているのに加え(270台、同-22.9%)、「普通トラック(1ナンバー車)」が2か月ぶりに減少したため(197台、同-7.9%)、2車種合計では6か月連続かつ大幅の減少となっている(467台、同-17.2%)。

民間非居住用建築物着工床面積の推移



### 「有効求人倍率」は

#### 3か月連続かつ大幅に低下

- ・「新規求人数(パートを含む)」(3月)は8,428人、前年同月比-12.1%で、3か月連続で減少し、「新規求職者数(同)」は5,023人、同-2.0%で、2か月連続で減少。
- ・「新規求人倍率(パートを含む、季節調整値)」は2か月ぶりに大幅低下の1.81倍(前月差-0.11ポイント)、「有効求人倍率(同)」も3か月連続かつ大幅に低下の1.14倍となった(同-0.11ポイント)。なお、「就業地別」の有効求人倍率は同0.11ポイント低下の1.38倍となった。今回の感染症拡大の影響が出始めてきたと考えられる。
- ・雇用形態別の有効求人倍率(原数値)は、「常用パート」が前月に比べ大幅低下(同-0.24ポイント)の1.33倍となり、「正社員」は3か月連続で低下の0.71倍(同-0.07ポイント)。
- ・県内安定所別の有効求人倍率(パートを含む、原数値)は、「彦根」が1.55倍で最も高く、以下、「草津」(1.39倍)、「長浜」(1.13倍)、「大津」(1.11倍)、「東近江」(1.09倍)と続く。「甲賀」は0.98倍で、16年5

月(0.97倍)以来の1倍割れとなり、「高島」は4か月ぶりに1倍を下回った(0.88倍)。

求人倍率の推移(パートを含む、季節調整済)

